

中間答申(案)に対するご意見と修正の方向性について

No.	該当箇所	ご意見	対応案	修正をしない主な理由
1	2 庁舎の整備方法について(改修か建替えか)	1行目 「現状や課題」を「諸課題」に修正する。 「あるべき状態」を「あるべき姿」に修正する。	修正せず	<ul style="list-style-type: none"> ・現状も判断の材料と考えられるため。 ・これまでの資料の表記と統一するため。
2	<本文>	2～3行目 「次に掲げる理由から庁舎を建替えるべきとの意見となりました。」を「次に掲げる理由から、「庁舎を建替えるべき」との意見の一致をみました。」に修正する。	一部修正	<ul style="list-style-type: none"> ・出席委員全員(10名)の一致ではあったが、欠席委員がいることを踏まえ意見の一致という表現は避けた方が望ましいと考えられるため。
3	上記の(1)	1行目 「推定耐用数を迎えるまで」の後に「残余」を追記する。	修正せず	<ul style="list-style-type: none"> ・迎えるまでの期間に「残余」の意味も含まれていると考えられるため。
4		3行目 「投資する方がよいと考える。」を「投資する方が最善である。」に修正する。	修正せず	<ul style="list-style-type: none"> ・最善であるという言い切りは難しいと考えられるため。
5	上記の(2)	全体を次のように修正する。 「庁舎を建替えることによって、現庁舎が抱える狭あい化等課題の大部分を解決するとともに、職員の意識改革の促進並びに市民サービスの向上に一層寄与できるものとする。」	一部修正	<ul style="list-style-type: none"> ・解決する課題の範囲に言及した議論はしていないため、大部分という表記は避けるべきと考えられるため。 ・最終的に市民サービスの向上を目的とすべきと考えられるため。
6	上記に(3)を追加	新庁舎は、周辺の景観に適合し、かつ、防災、減災に万全を期すとともに、市民の要望に応えたものになると考える。	最終答申に反映を検討	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに意見が出ていないものが含まれており、今後の議論を踏まえ、最終的な答申に盛り込むべき内容と考えられるため。
7	3 留意事項に(3)を追加	建設用地は、既存の市有地を活用するよう、十分に配慮すること。	最終答申に反映を検討	<ul style="list-style-type: none"> ・用地の議論はあったが、まだ審議会として決定したものはないため。 <p>※ 今後新庁舎の建設場所の議論を予定</p>